

【平成22年度 授業改善推進プラン】

板橋区立 志村坂下小学校

【国語】

<p>■児童の状況</p>	<p>本校では、各領域及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の中でも、特に、〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕〈イ 言葉の特徴やきまりに関する事項〉、〈ウ 文字に関する事項〉の学習内容の定着がもう一息である。</p> <p>〈イ 言葉の特徴やきまりに関する事項〉では、動作を表す言葉はよく理解しているが、様子を表す言葉の理解度は低い。また、文の形の理解度も低い。主語・述語・修飾語がどういう役割なのかを理解することが不十分である。一方で、接続語の理解度は高い。</p> <p>〈ウ 文字に関する事項〉では、漢字の「音読み」「訓読み」の意味が十分に理解されていない。また、漢字の書き取りも定着不足である。例えば、「悲しい」「鳴く」なら書くことができても、「悲鳴」のように熟語になると書き取ることができない児童が多い。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>〈イ 言葉の特徴やきまりに関する事項〉では、様子を表す言葉を使った「短作文」や「作文」を書く活動を数多く取り入れることが必要である。また、教材文の指導においても、内容の読み取りに偏らず、言葉の特徴やきまりもきちんと指導することが必要である。</p> <p>〈ウ 文字に関する事項〉では、新出漢字を学習する際、ただ単に覚えさせるのではなく、「音読み」「訓読み」を確認するとともに、その漢字を使った熟語を、きちんと書いたり読んだりする活動が必要である。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>『みどりんタイム』において新出漢字の学習を丁寧に行う。新出漢字や様子を表す言葉を使った「短作文」や「作文」を書く活動を取り入れ、実際に文や文章の中で使うことができるようにする。</p> <p>新出漢字の指導の際には、書き順の指導を丁寧に行う。また、その漢字を使った熟語を、きちんと書いたり読んだりする活動を取り入れる。フラッシュカードや掲示物を工夫し、日頃から漢字に触れる機会を増やす。</p>

【社会】

<p>■児童の状況</p>	<p>・学校の外に出て現場で学ぶ社会科見学が楽しいので、社会が好き、さらに、言葉だけでなく、地図や図、ポスターなどの絵でも表現できるので社会科の学習は楽しいと感じる児童が多い。反面、内容が分かりにくい、難しい言葉が多い、調べ方が分からない等の理由で、社会科を苦手と感じる児童もいる。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>・单元ごとに、興味・関心を喚起するために、その单元に合った、学習方法、学習形態を考え、工夫する必要がある。</p> <p>・学習事項の確実な理解のために、教材の提示方法や発問を児童に分かりやすく工夫する必要がある。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>・見学・体験・出前授業等を多く取り入れ、より具体的な資料を効果的に活用させる。</p> <p>・单元ごとに発表の機会を設け、分かったことや考えたことを、学習や生活に生かすようにさせる。</p>

【算数】

<p>■児童の状況</p>	<p>基本的な計算に関しての出来具合は、まずまずである。これは、『みどりんタイム』で繰り返しプリント学習を行っている成果だと考える。しかし、3けた+3けた・3けた-3けた・2けた×2けたの問題では、誤答が多かった。</p> <p>小数の計算やあまりのあるわり算では、正答率が低かった。特に、3400÷600のように終わりに0のあるわり算の正答率はかなり低かった。「計算のきまりを使った計算」も、やはり定着度は低いので、課題である。</p> <p>表・図形・分数の問題は、大変難しかったようである。分数に関しては、仮分数、帯分数、真分数の意味や、仮分数と帯分数の変換、大きい順の問題があまり理解できていない。</p> <p>四捨五入の問題では、「四捨五入」「上から2けたの概数」「百の位まで」…と難しい用語が登場し、正答率は低かった。</p>
<p>■指導についての課題</p>	<p>基本的な計算は、「たしかめ算をする」「見通しをもつ」(見当をつける)ことが大切である。たしかめ算をすれば、どれが正解で、どれが誤答かが分かる。</p> <p>図形に関しては、算数的用語を正しく理解させ、2枚の三角定規の角度は、覚えさせることが必要である。</p>

	<p>分数に関しては、仮分数、帯分数、真分数の意味を理解させ、仮分数と真分数の変換、大きさ比べなどの問題を繰り返し解いていくことが必要である。</p> <p>四捨五入の問題では、難しい用語を一つ一つていねいに理解させ、たくさん練習問題を解くことが大切である。</p>
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p>『みどりんタイム』や授業では、基礎・発展の計算プリントを用意し、多くの問題を解かせ、学習の意欲を高めていきたい。</p> <p>文章問題では、文章を音読させ、分かっていることや求めることに線を引き、確認してから解くようにする。</p> <p>算数的用語をしっかり理解させ、操作活動(体験活動)を授業の中でたくさん取り入れ、定着を図りたい。</p> <p>問題の解き方では、図や絵、数直線、文章などを用いて、自分で考えて解き方を見つけるようにし、思考力を高めていく。また、解き方を発表させることで、伝える力を身に付けさせたい。</p> <p>個別学習やグループ学習を行い、ヒントカード・振り返りカードなどを活用して、個に応じた学習をする。</p>

【理科】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の経験の違いによって、自然・地球・環境についての興味関心の高さの違いが大きい。 ・断片的に知識はもっているが、既得の知識・技能等を活用したり、新たな分析や判断も加えて問題を解決したりする力が十分身に付いていない。 ・新たな実験や器具・用具に対する興味関心は高い。しかし、使い方や結果の読みとり方の理解が不十分なため、実験結果を正しくとらえたり、それを整理して正しく記録にまとめたりすることができない児童もいる。 ・様々な事象や知識を関連づけて考えることが苦手なため、観察結果や資料から自分なりに見出すことができない。また、「表現する力」の不足もあり、観察や実験の結果から、事象の理由を説明したり、きまりを見付け出したりすることが苦手である。 ・実験の目的に応じて、条件を一定にしたり、変えたりすることなどを主体的に考え、行う力が不十分である。
---------------	--

<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の問題意識を喚起し、単元のねらいに迫るような「学習課題」を設定し、児童が主体的に追究するような学習を展開していく必要がある。 ・説明の内容を的確に押さえて聞き取る学習、問題解決のために筋道を立てて考える学習、知識・技能を関連させて積み重ねる学習を意図的・計画的に行っていく必要がある。 ・様々な観察・実験器具の使い方・結果の読み取り方を個別指導し、正しく観察・実験させることにより、得られた結果を整理して正しく記録する力を育てる指導が必要である。 ・既習事項・体験を基に予想・推論する能力を育てる指導が必要である。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験に際して、既得の知識や経験から結果の推測をする活動を取り入れていく。また、実験結果から何が明らかになったのかを記録し、発表したり話し合ったりする場を多く設定し、思考力・表現力も一層伸ばしていく。 ・月の動きと見え方など、適宜、モデル実験を行い、実際にあてはめて考えさせるようにする。 ・実験・観察用具を整備し、直接使える機会を多くする。実験・観察を個別指導することにより、実験・観察用具の正しい使い方・結果の読み取り方を理解させるとともに、五感を使って結果をとらえ、得られた結果を整理して正しく記録することができるように、具体的に助言・支援する。

【生活】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の施設や先生など学校生活を支えている人や友だちについては、自分と直接関わりがある範囲での施設や生活については理解している。 ・家族のことは理解している。 ・地域や公共物に対して大切にすることを意識している。 ・自然を利用して遊びを工夫することが出来る。 ・飼育により生命尊重の心が育まれている。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設や先生を活用する実践力や自分と直接関わりがない範囲での理解と実践力を身に付ける必要がある。 ・通学路については周囲の施設や危険性を考えさせる必要がある。 ・自分の役割を積極的に果たす大切さを学ばせていく必要がある。 ・地域や公共物を支えている人を、意識させる必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化を様々な場面で感じさせる必要がある。 ・生き物が育つ環境への意識を高める必要がある。 ・自分の成長の陰にある人々の支えへの意識を高める必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校探検や上級生との縦割り活動などを多く設定し、自分の活動範囲についての理解と実践力を高めるようにする。さらに、縦割り活動や休み時間の上級生との関わりの中で、自分の活動範囲を超えた施設を活用する実践力を高めると共に、徐々に学校生活を支えている人々についての理解と実践力を高めるようにする。 ・集団登校・下校の際の指導や学校活動を連携した指導により、登下校の安全確保のための行動様式を身に付けさせるようにする。 ・学校での係活動や飼育等を通して分担意識を高めると共に、家庭と協力して家庭の中での役割分担を果たす経験を多くする。 ・児童館や学童保育クラブの方など、身近な方々から話を聞く機会を設けたり、地域探検などで施設を維持していくための工夫を発見したりする活動を進めていくようにする。 ・1年間を通して自然の様子を観察したり、遊び道具を工夫したりする。 ・学級で可能な飼育活動を進め、生物によって生活環境が異なることに気付かせる。 ・自分の生き立ちを振り返る活動や、自分の日常生活を支えてくれている人々を確かめる活動を設定し、自分の成長が多くの人々によって支えられていることに気付かせ、意欲的に生活できるようにする。

【音楽】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に歌い、楽器にも興味をもっている児童が多い。 ・たまに怒鳴りすぎて歌ってしまうことがあるので、頭声発声の声の出し方をもう少し定着させたい。 ・5・6年になると声代わりが始まり、声を出すことに自信がもてない児童もいるので、歌う曲の音域にも配慮する必要がある。 ・曲がすぐに演奏できてしまう児童と、時間がかかってしまう児童がいるので、個別指導の時間も必要である。
---------------	---

<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できないと感じるとすぐに諦めてしまうことがあるので、やればできることを実感させていく必要がある。 ・話を聞くと、活動するときのメリハリをしっかりつけて授業を進める必要がある。 ・必要に応じて個別指導を行い、一人一人の児童の良さを生かせる指導を工夫していきたい。 ・テンポ良く授業を進め、児童が活動する時間をできるだけ多くとれるようにしていく必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究をしっかり行い、分かりやすい楽譜作りや教材提示を行う。 ・よい声、よい音を追求できるような声かけをしていく。 ・日頃から、児童の特徴を把握し、音域や曲の感じが児童にあってい曲を選曲していく。

【図画工作】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで表したり、作品を作り出したりすることなどに多くの児童が大変意欲的である。 ・発想や構想の能力では、人の目を気にせず、のびのびと表現している児童が多い。しかし、発想が既存のデザインやキャラクター内にとどまっている児童も見られる。 ・創造的な技能に関してはもう少し努力が必要である。 ・身の回りの作品から良さや楽しさを感じ取っている。それらを大切にす気持ちももっている。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動を苦手とする一部の児童の苦手意識を払拭する。 ・教師が説明過多にならないよう、児童の制作時間を十分に確保する。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そっくりに描ける、作ることができるなど写実的な部分は図工の一部に過ぎないことを理解させる。多様な価値観こそが美術であることを理解するために、古今東西の美術作品や歴史など紹介し、鑑賞授業にも力を入れていく。 ・身近にある美術(漫画やキャラクター)以外の美術作品に多く触れさせる。 ・技能面、技術の基礎的な部分(道具の扱い方、色彩や構図の知識)を教師の説明ではなく、楽しい実践方式で身に付けさせる。

【家庭】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科が好きで、興味もあり、意欲もある児童が多い。 ・包丁を握ったこともなければ、針を持ったこともなかった児童等、生活経験の乏しい児童と、そうでない児童との差が大きい。 ・小物作り等が好きな児童が多く、男女かかわらず、手縫いが上手である。 ・意欲的な児童が多く、挙手や発言も多い。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を図るために、裁縫、調理どちらも基本的なことの指導には、個別指導を要する。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あまり、家庭科が得意ではない児童を教卓に集合させて、個別指導をしながら、自分の机で学習している児童にも目を配り、指導していく。 ・「栄養の歌」を楽しく歌いながら、栄養素を覚える。 ・毎日、給食の献立を発表して、レシピや栄養素に興味をもたせる。 ・多くの作業時間を確保し、裁縫に対してさらに興味をもたせる。

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究の取り組みにより、全学年で、運動を楽しむための工夫した授業を行った。その結果、体育が好きな児童や運動を楽しみ意欲的に取り組む児童が多くなった。 ・なわとびやマラソンなど、学習カードや大会運営を工夫したことにより、自分の課題や目標を達成するために意欲的に取り組んでいた。 ・体力テストでは、どの学年においても、昨年度と比べて体力の向上が見られた。
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳については、水に対する抵抗感がある児童がいるため、1年生の導入段階から抵抗感を減らす必要がある。 ・体力が低い児童に対して、普段から運動を楽しむ授業を行っていききたい。 ・昨年度行った「運動身体づくりプログラム」などの取り組みを継続して、運動感覚の育成を行っていききたい。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教え合いの活動を取り入れることで、どうしたらうまくできるかを考えさせる。 ・適切な課題をもたせて、確実なレベルアップの方法を示し、達成感

	<p>を味わわせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強・大規模改修工事にともない、運動できる場所が限られてしまうので、効果的に運動を行えるように計画していく。
--	--

【外国語活動】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童が歌やゲームなどに積極的に取り組み、それらを通して関わり合いを楽しんでいる。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任ではなく、ALT主体の活動になりがちである。毎時間どの児童も話したり友達や指導者と関わり合ったりすることができる機会を設けることが必要である。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任が主体になり、楽しく活動を進めていけるよう、研修の機会を設けたり、必要な教材・教具をそろえたりする。小中連携研修会等を利用して、互いに情報交換をしていく。

【総合的な学習の時間】

■児童の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対しては問題意識や興味・関心をもって意欲的に取り組むことができた。 ・図書資料やインターネットなどで、調べた内容を自分なりに工夫してまとめることができ、発表の時も相手に伝わるように意識して発表することができるようになってきた。 ・移動教室に関連してその地方の自然や歴史について問題意識をもって調べることができた。
■指導についての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の課題から、個に応じた課題を適切にもたせるための手立てを考える必要がある。 ・相手により分かりやすく伝えやすい方法を示して行く必要がある。 ・行事との関連でゆとりをもって計画通りに活動を進めることができない時があった。
■授業改善に向けての具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や提出物等による継続的な見取りから、個に応じた支援をしていく。 ・必要な情報を選択し、より分かりやすく伝わるようなまとめ方を指導する。お互いのよいところを見合ったり、よいまとめ方を紹介し合ったりする。 ・ゆとりをもって各単元の学習活動を進めることができるように年間計画を再度見直していく必要がある。 ・単元の内容によっては学年合同の授業を計画したり、外部講師を迎えての出前授業などを取り入れたりしていく。